

平成30年度 第71回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

女子準決勝

精華女子 68

57 県立西原

主審 佐藤 安里紗

(福岡1位)

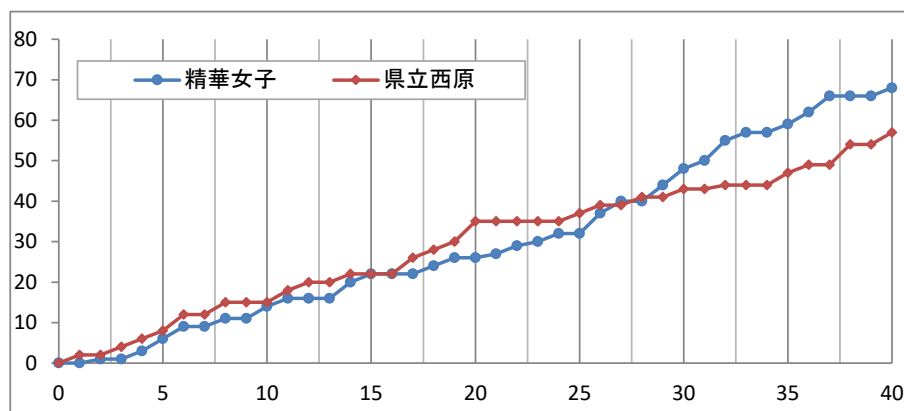


(沖縄1位)

第1副審 寺田 祥

第2副審 小川 隆三

No. 17A1 日時: 2018年6月17日(日) 9:30 会場: 大村市体育文化センター



精華女子

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 矢野 聖華 (C)	13	3	2	0	1
5	* 樋口 鈴乃	14	2	4	0	1
6	長谷川奈央	-	-	-	-	-
7	* 三浦 舞華	16	2	5	0	3
8	仲里紗々花	-	-	-	-	-
9	那須 楓	0	0	0	0	3
10	屋宜沙弥香	-	-	-	-	-
11	齋藤 風香	0	0	0	0	0
12	嵐 夏妃	-	-	-	-	-
13	吉原 陽世	-	-	-	-	-
14	* 中園陽菜乃	9	0	4	1	1
15	* 木村 瑞希	16	0	7	2	3
コーチ	大上 晴司					0
合計		68	7	22	3	12

県立西原

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 前原 彩永 (C)	17	0	6	5	1
5	宇根 美優	-	-	-	-	-
6	根間 菜香	-	-	-	-	-
7	* 知名 祐里	2	0	1	0	1
8	* 具志堅夏琳	12	2	3	0	1
9	宮里野乃子	6	2	0	0	1
10	* 内間 星奈	8	0	4	0	0
11	* 宮里 雅	12	0	4	4	3
12	照屋 海来	0	0	0	0	0
13	金城 歩里	-	-	-	-	-
14	仲本 茜理	-	-	-	-	-
15	呉屋 果鈴	-	-	-	-	-
コーチ	崎浜 秀勝					0
合計		57	4	18	9	7

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

第1Q、お互いにマンツーマンディフェンスでスタート。互いに堅いボールマンディフェンスの中で、西原は#4の鋭いドライブインからのバスケットカウント、#10の2Pなどで得点する。対する精華女子は、#15のインサイドプレイ、#5・#4・#7の3Pで果敢に応戦。15-14の西原1点リードで第1Q終了。第2Q、精華女子は#7がスティールからの速攻、#14のドライブイン、リバウンドシュートなどで積極的に攻撃して点差を詰め寄る。一方で西原は、#8のミドルシュート、#4の1対1などで加点。終盤、#11の巧みなインサイドシュートや#9の3Pで突き放し、35-26の西原9点リードで前半終了。

第3Q、追い上げたい精華女子はインサイドプレイを中心に#15のフリースロー、#14のリバウンドシュートなどで確実に加点。対する西原は#8のミドルシュートで対抗するが、相手の厳しいディフェンスでなかなか得点が伸びない。さらに残り3分#4・#5の連続3Pなどで流れをつかみ逆転に成功。西原はインサイドにボールを集め#11の2Pが決まるが、精華女子が48-43の5点リードで終了。第4Q、突き放したい精華女子は#5のスクリーンプレイからのドライブインや#4の3Pで加点。残り8分、10点差となり西原がタイムアウト。西原はオールコートディフェンスに切り替え必死に食らいつくも、精華女子の高いディフェンスリバウンドによってセカンドチャンスが奪えず、苦しい展開のまま終盤を迎える。最終的に、安定したガード陣と強力なインサイドプレイで精華女子が68-57でこのゲームをものにした。準決勝にふさわしい白熱した好ゲームで、最後まで果敢に戦った両チームに会場から大きな拍手が送られた。

記者者	織田 功	(所属) 長崎県高体連バスケットボール専門部
-----	------	------------------------